

補助事業プレゼンテーション資料

プレゼンテーション1

社会福祉法人 安房広域福祉会

中里ワークホーム
施設長 岡田義之

補助事業名
～障害者グループホーム・ケアホーム一体型施設建築補助事業～

プレゼンテーション2

社会福祉法人 パール

理事長 新谷 弘子
相談員 児玉 高義

補助事業名
～お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業～

プレゼンテーション1

補助事業名

～障害者グループホーム・ケアホーム一体型施設建築補助事業～

社会福祉法人 安房広域福祉会

中里ワークホーム

施設長 岡田 義之

平成23年度補助事業 自己評価書

番号	23-2-029
項番	1/1

補助事業者名	社会福祉法人 安房広域福祉会		
補助事業名	障害者グループホーム・ケアホーム一体型施設建築補助事業	事業項目名	

1. 社会的課題と補助事業の関係整理

社会的課題 (最終目的)	状況	施設入所者の方々の地域移行と地域で生活する障害者の暮らしの場が不足している
	補助事業で解決・改善を目指す	目指す姿 就職を実現した障害ある方々が施設を出て地域で安定した暮らしを実現する。 地域で生活する障害者が支援を受けながら安心して暮らせる場を実現する。



補助事業	目的 (中間目的)	<ul style="list-style-type: none"> 入所施設から地域生活へ移行する。 地域で生活している障害者が支援を受けながら安定した暮らしを実現する。
	受益者	<ul style="list-style-type: none"> 当施設の入所者(定員30名の内5名)地域で生活している障害者(3名) 施設入所者で就職をした方でグループホームの生活を希望している人がいる。また地域にもグループホーム利用を希望している人がいる。
	実施内容	<p>当施設の入所定員を将来的に20名として、全員の個室化を図り個別スペースの拡充と安定したプライバシーのある生活を実現するとともに、グループホームへ移行する方々は、より地域社会の方々との交流機会を多くし、地域生活を実現する。また地域で生活している障害者がその必要と希望によりグループホームで生活し支援を受け安定した暮らしを実現する。</p> <p>障害者グループホーム1棟 定員8名 木造2階建 215.58㎡ 暖冷房設備 合併処理槽8人 初度調弁</p>
	結果・成果	中里ワークホーム入所者5名、地域で生活している方から3名の受入をした。

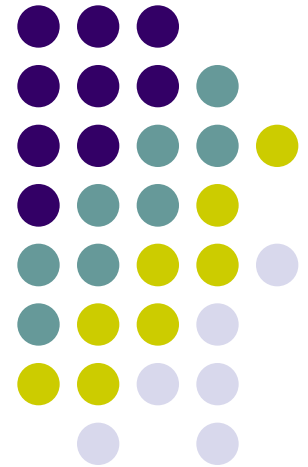
2. 補助事業の実施状況、結果等を振り返り、補助事業全体を総合的に評価

事業全体の総括的感想	グループホームの建設には大きな費用がかかり、施設で準備することは難しい。資金の補助をいただけることにより、安心して事業を進行させ実現することができた。また実際にはグループホームへ移行した方々の生活は一人暮らしという自信と、安定した生活の姿が顕著に現れ、その有効性から今後もグループホームを増やしていく事が必要と感じます。
今回の事業で、優れていると評価できる点	<p>【実績】施設入所者5名の地域生活と地域で生活していた3名の方々の利用受入れを行うことができた。</p> <p>【理由】施設入所支援より少人数で生活することで精神的に安定して生活できるようになった。また地域で家族と生活されている方については、そのご家族の高齢化により生活の困難な状況から安定して支援を受けながら生活できる環境が整った。また、児童養護施設からの受入れも実施した。</p>
今回の事業の課題、改善すべきと思われる点	<p>【課題】建設用地の現状と建物の関係から確認申請で不具合が生じた。今後、県条例等も充分考慮し、設計者と充分打合せが必要である。また、当初の予定では2棟建設(利用者16名)を計画したが、同一敷地内10名までの県の指導により、計画変更した。地域生活の定義から多人数は問題あると思われるが、敷地の有効利用などの面において課題がある。</p>
事業実施で得ることができた教訓(知識・知見)、その他アピールしたい点	今回のグループホームは施設入所からの移行が5名、地域から3名です。入所からの移行の方々は安定し笑顔が多くなったようです。また地域からの方は一人暮らしの方1名、親の加齢による事情から1名、児童養護施設から1名で、それぞれ今後の生活に困難がありました。その方々の今後の安定した生活に大きく寄与したと思います。

地域で暮らす ～いきいきとした生活のために～

ケアホーム平砂浦

社会福祉法人安房広域福祉会



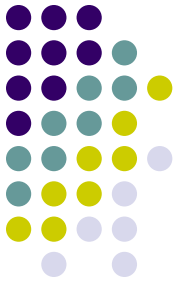


当法人の特色

- 昭和62年に、千葉県安房地域に初めての知的障害者施設を開所しました

現在・・・指定障害者支援施設	2
児童デイセンター	1
生活介護事業所(通所)	1
ケアホーム	2
障害者就業・生活支援センター	1
福祉作業所(指定管理)	1
店舗	2

を運営しています



ケアホーム建設の経緯

- 施設入所利用者の地域移行を目指す
- 地域で生活しているが、さまざまな事情によりより安定した住環境が必要

→ ケアホームの必要性

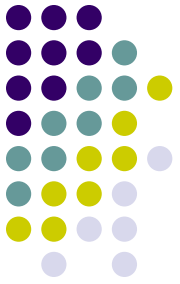


ケアホーム平砂浦

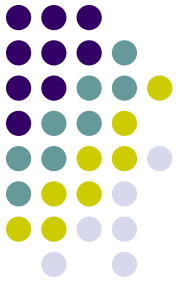
- JKAから補助をいただき、平成24年6月から事業を始める

定員8名

現在、男性6名、女性2名が利用中



年齢性別	区分	生活状況	CH利用前は
男性 59歳	3	生活介護を利用	中里ワークホーム入所
男性 35歳	3	会社勤務	中里ワークホーム入所
男性 31歳	2	会社勤務	中里ワークホーム入所
男性 44歳	2	就労継続B型利用	在宅
男性 40歳	3	会社勤務	在宅
男性 67歳	1	就労継続B型利用	中里ワークホーム入所
女性 57歳	4	就労継続B型利用	中里ワークホーム入所
女性 19歳	2	会社勤務	児童養護施設



ケアホーム平砂浦外観

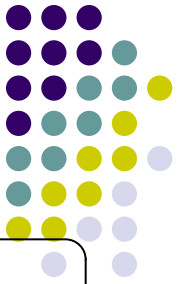




日常の様子

ただいま～

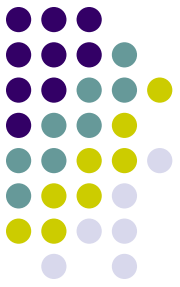




日常の様子

夕食です 今日のメニューは・・・

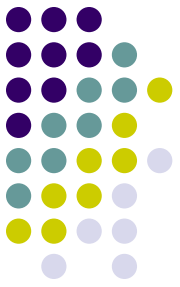




日常の様子

食事の片づけを





日常の様子

みんなでのんびりしたり





日常の様子

部屋でくつろいだり





日常の様子

一足おさきに朝ごはん





日常の様子

会社で仕事をしています





ケアホームを開設したことにより

《施設入所から地域生活へ移行のケース》

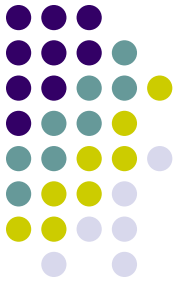
- ・自分の力で生活している、という自信を持てた
- ・自分の住まいの空間ができた
- ・日々の生活が安定すると、仕事も安定する
- ・周辺地区の住民との交流を深めることができた
- ・少人数のため高齢の利用者が、ゆっくりゆとりを持って生活できる



ケアホームを開設したことにより

《在宅からグループホーム・ケアホームへ移行のケース》

- ・地域での単身生活に困っている方が、安心して暮らせる場を確保できた
- ・同居する家族(=介護・介助者)の高齢化に伴い、暮らしに困っているケースの方が安全に暮らせる場を確保できた



これからも、地域との関わりを大切にしながら、
利用者一人ひとりのニーズにあわせた運営を
してまいります



プレゼンテーション2

補助事業名

～お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業～

社会福祉法人 パール

理事長 新谷 弘子

相談員 児玉 高義

平成23年度補助事業 自己評価書

番号	23-2-010
項番	1/1

補助事業者名	社会福祉法人 パール		
補助事業名	お年寄りが幸せに暮らす社会を作る活動 補助事業	事業項目名	

1. 社会的課題と補助事業の関係整理

社会的課題 (最終目的)	状況	高齢者の独り暮らしは年々増え続け、共働き世帯の増加、核家族と少子化といった現象は家庭介護力を低下させています。現在の公的福祉サービス等では解決できない高齢者の問題は、精神的、経済的問題、人間関係の悩みなど生活全般に及んでいます。
	補助事業で解決・改善を目指す	目指す姿



補助事業	目的 (中間目的)	高齢者の福祉の増進を目的とし、あなたの相談室は、長年にわたり経験を積んだ相談員と医師・看護師・弁護士・理学療法士と連携して対応します。電話・面接・専門相談、介護予防自立講習会が一体になりお年寄りの暮らしの問題解決を図ります。
	受益者	相談室は都知事認可を得て、高齢者・障害者を対象に活動してきました、相談者はその家族も含め延べ1000人以上です。介護予防講習会が好評により、回数が倍になりました。
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談: 1～2人の相談員で相談を受ける、面接の必要がある時は、当施設で対応 ・面接相談: 必要に応じて来所者の相談を受ける、ケースによっては、カウンセリング ・専門相談: 医師や弁護士・学術経験者等の専門家の立場での助言相談日进行 ・介護予防講習会: 転倒・骨折予防筋力トレーニング(理学療法士) ・食事指導: 低栄養改善のため栄養士による食事指導会食を行う ・専門相談事例から学ぶQ&Aを毎年1,000部発行
	結果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の電話相談、面接相談、専門相談について、日報を作成提出しました ・3つの相談ごとに、相談件数報告を作成、件数はやや増加しております ・特に専門相談の主な相談事例について、Q&A報告書を発行し関連先に配布しました

2. 補助事業の実施状況、結果等を振り返り、補助事業全体を総合的に評価

事業全体の総括的感想	相談事業全体では、半数近くが新規ですが、年々変化する相談傾向を捉えて、新しい事例を「Q&A」に掲載していきます。その他「パールだより」「社活研」等の広報活動により、また介護予防自立講習会、手作りグループ、朗読グループ、銀の会(俳句)、日赤移動図書グループなどの活動により、より相談し易い“場づくり”が出来てきています。
今回の事業で、優れていると評価できる点	相談事業の中で、専門相談員として、医師・弁護士・理学療法士・学術経験者等の支えがあり、複雑化する困難な問題にも解決の方向に向かっていけること。コミュニケーションを重視した、介護予防教室においては、音楽レクリエーション、太極拳体験、フラダンスレッスン、テーブルハイパーホッケー、料理教室等工夫を重ねたレクを実施、一人でも多くのお年寄りが幸せに地域で自立生活ができるよう改善されます。
今回の事業の課題、改善すべきと思われる点	相談事業に繰り返し、電話してこられる方、よく来所して相談していく方は何度もお話をお伺いし、解決の方法を探すのですが、いきなりの電話、切羽詰った電話は状況の把握に時間を要する、貧困からくる生活苦、複雑な人間関係から絶望してる方等は、今の時代の影の部分であり、隠れた社会問題ととらえます。
事業実施で得ることができた教訓(知識・知見)、その他アピールしたい点	相談事業の電話相談、面接相談、専門相談はそれぞれうまく連携して行われていますが、さらに“介護予防自立講習会”を実施すると、相談件数もアップ、講習会の回数も、多くの要望により倍増しました。1回の参加者数は16～20人程と大きく増えました。心の健康(相談)、頭と体の体操を繰り返すことで幸せに暮らせると、強く支持されたことが教訓です。

社会福祉法人パール 概要

法人設立認可年月日 平成9年11月27日

法人設立年月日 平成11年4月1日

諸官庁区分 東京都

所在地 東京都渋谷区鉢山町3番27号

理事長 新谷 弘子



法人の理念

パールの基本三理念

- 人間らしい生活（人間の尊厳）
- その人らしい生き方（個人の尊重）
- お互いに伝え合うぬくもり（共生）

法人の品質目標

(1) サービス品質の基本理念

地域に根ざした福祉の拠点としての役割を担っていくため、パールは法人の定める三理念を再確認する

(2) その具体的な品質方針

- 地域で生活するすべての高齢者が安心して生活できる環境づくり
- 職員教育と福祉活動に適したプログラムを作成し、職員の意欲を引き出す
- 相互の心の触れ合う機会を多くし、笑顔と愛情に包まれた雰囲気をかもしだす
- 品質方針を達成するため、職員は自身の健康管理に努める

法人の倫理

- 1 社会福祉法人パールの使命
- 2 公平・公正に法令遵守で施設運営
- 3 ご利用者の生活向上
- 4 職員の資質・専門性の向上
- 5 地域福祉の向上
- 6 国際視野での活動

事業紹介

第1種福祉事業

- ・ 特別養護老人ホーム パール代官山

第2種福祉事業

- ・ ショートステイ
- ・ デイサービスセンターパール鉢山
- ・ 訪問介護事業所 パールケア
- ・ 訪問介護事業所（障害者(児)の福祉サービス）
- ・ **あなたの相談室（補助事業を含む）**
生活困難者・障害者（児）の相談

事業紹介

公益事業

- ・ 地域包括支援センターパール
- ・ パール居宅介護支援事業所
- ・ パール訪問看護ステーション
- ・ パール福祉用具総合センター
- ・ 配食サービス パラ食
- ・ 有償家事援助サービス パラケア
- ・ 移送サービス パラキャブ
- ・ コミュニティカフェ キッチンパール
- ・ **社会福祉活動教育研究所（補助事業を含む）**
- ・ 訪問介護員養成研修（パール福祉カレッジ）

補助事業概要

事業名

お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動

実施内容

相談事業

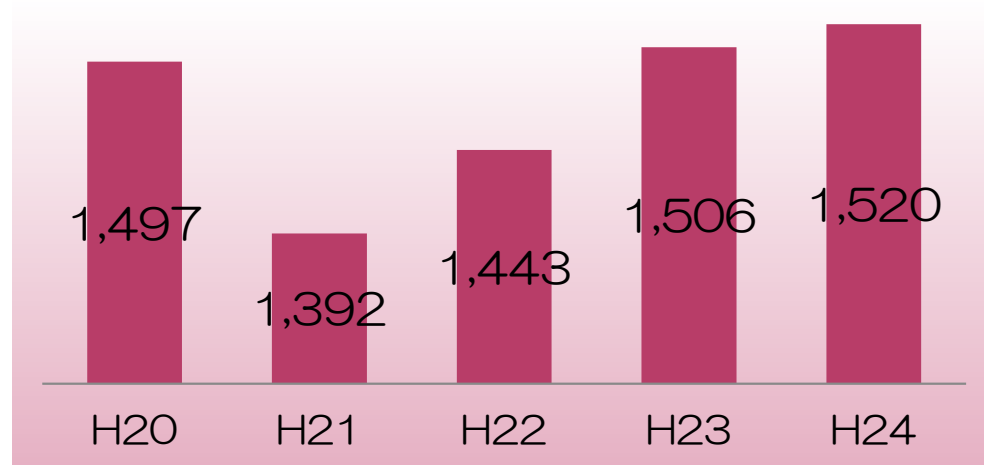
- ★電話相談
- ★面接相談
- ★専門相談
- ★介護予防自立講習会

補助事業内容紹介

★電話相談

毎日、1人～2人の専門相談員による相談を受ける。相談内容によっては継続してカウンセリングを行い、面接相談の必要があるときは関連機関への紹介・連絡調整を行う。

相談件数推移

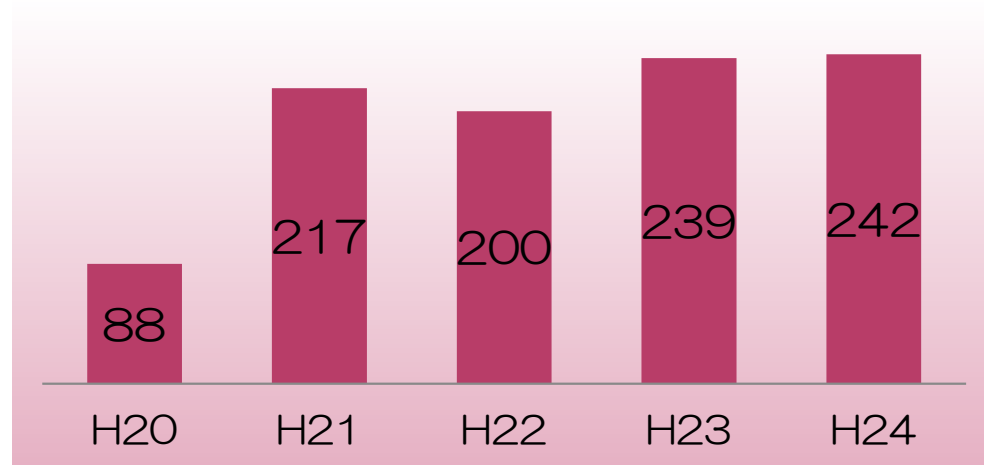


補助事業内容紹介

★面接相談

必要に応じて来所者の面接相談を受ける。相談ケースによってカウンセリング面接指導等を継続して行い、内容により関係機関への紹介など専門職と連携して援助を行う。

相談件数推移

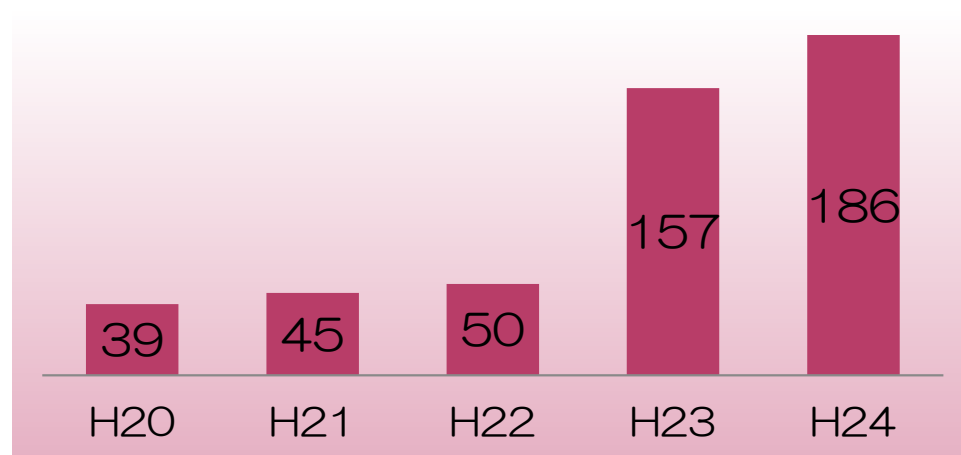


補助事業内容紹介

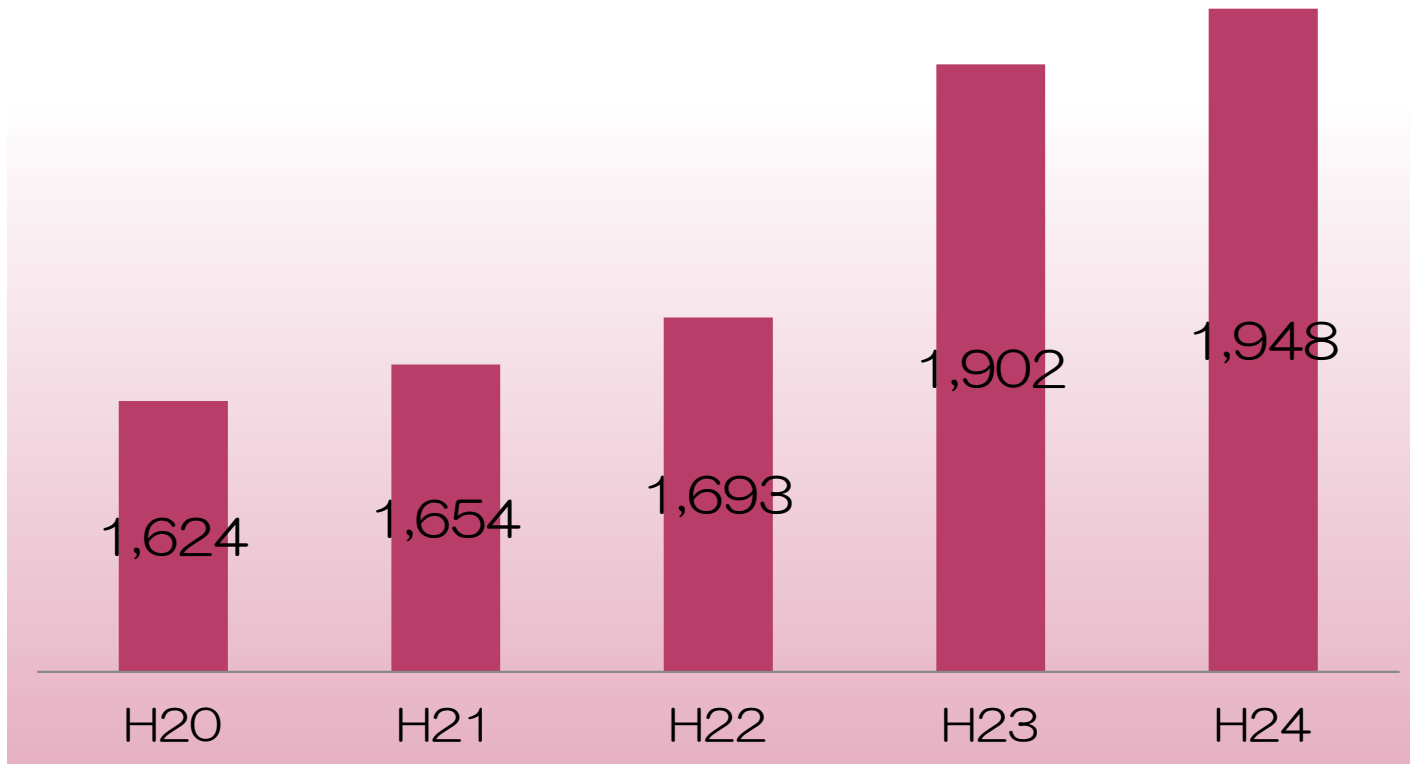
★専門相談

平均月3回、医師や弁護士・学術経験者・理学療法士・社会福祉士等による専門家の立場での助言相談日を設ける。出来る限り自立生活が可能となるように具体的な援助を行う。

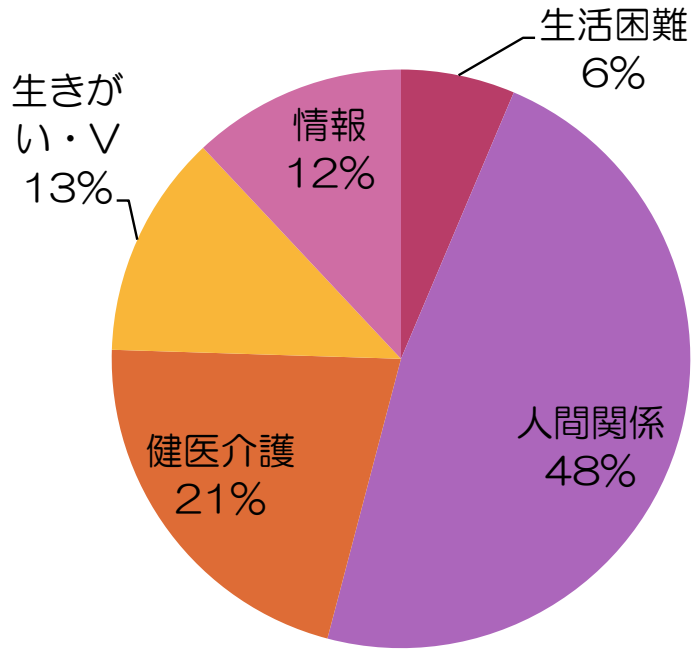
相談件数推移



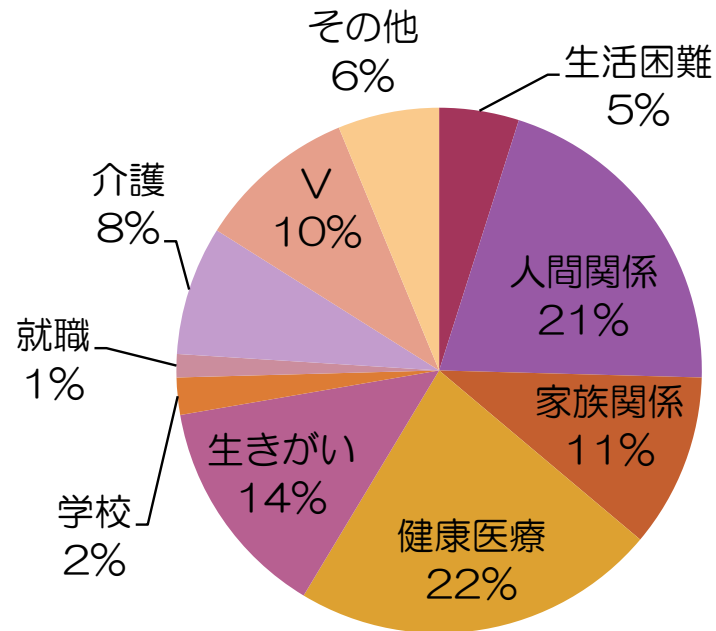
平成20年度～24年度 相談件数推移



平成20年度～24年度 相談内訳



平成20～22年度



平成23～24年度

補助事業内容紹介

★介護予防教室

平成18年度から開始。転倒・骨折予防筋力トレーニング（毎月3～4回）筋力低下やバランス感覚の鈍磨による転倒を防ぐため、理学療法士の指導のもと、筋力を目覚めさせ転倒・骨折しにくい身体づくりを行う。



介護予防教室 風景

ご参加される皆様、本当にお
元気になられています。
笑顔が輝いていて素敵です！



歩行姿勢チェック

健康体操



呼吸トレーニング

介護予防教室 風景

お食事が楽しみ！という方
も大勢いらっしゃいます



栄養士によるレクチャー



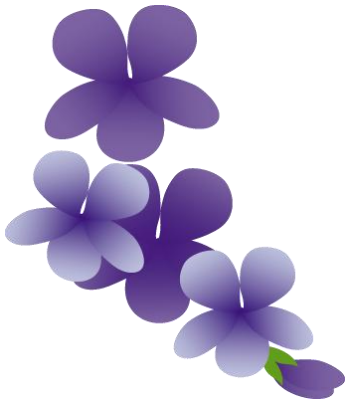
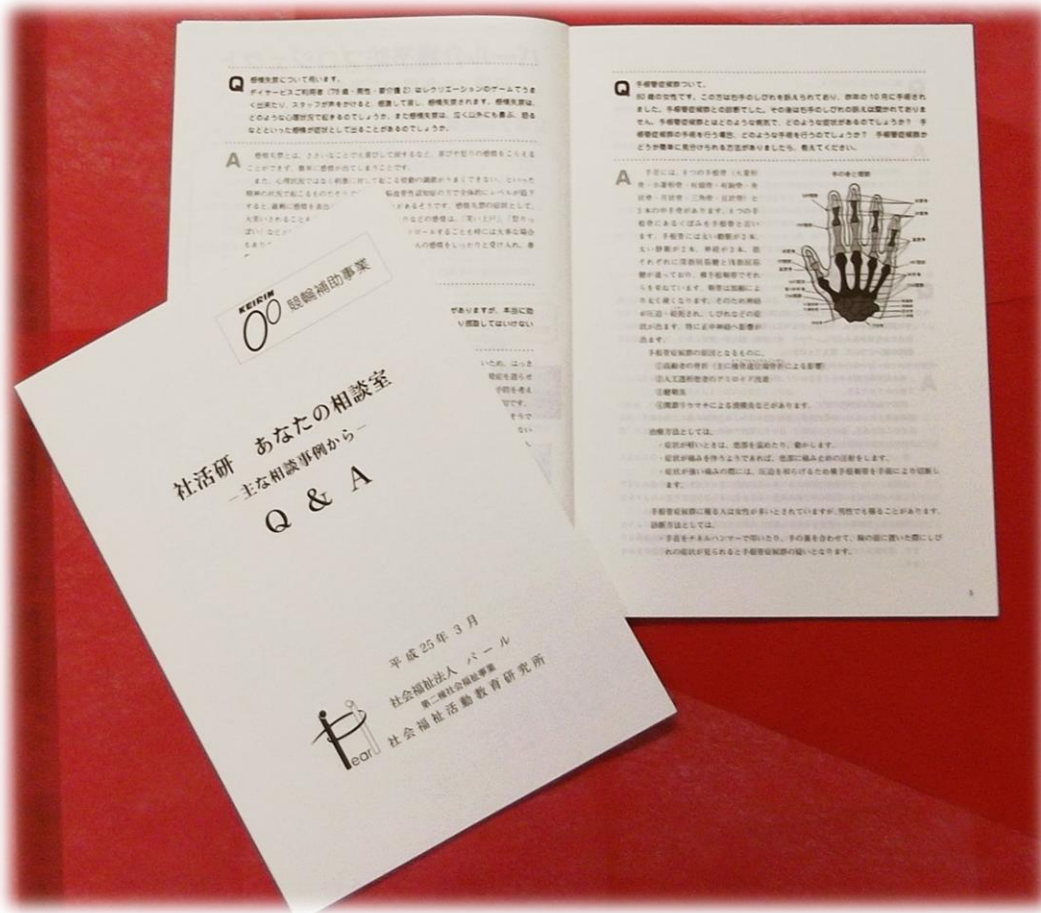
料理教室



食事



補助事業により作成した印刷物

冊子 「あなたの相談室 Q&A」



補助事業により作成した印刷物

あなたの相談室 PRポスター



競輪補助事業


社活研 あなたの相談室

～お年寄り・障がい者などが幸せに暮らせる社会をつくるために～

パールの社会福祉活動教育研究所の相談事業は、(財)JKA公益事業振興の補助を受けて、主に4分野で対応。この4分野は、別々に独立して対応するのではなく、互いに連携して解決を図っております。


- ① 介護予防教室（転倒を予防して、明るく元気で長生きする）
- ② 専門相談（弁護士・医師・大学教授・理学療法士・他各分野の専門家）
 - ・ 家庭や職場での不安がある。弁護士への相談。医学的な知識や意見を得たい。
 - ・ 福祉に関する意見や相談。生活についての相談。など。
- ③ 面接相談（個人の問題。グループワークで個人の生き甲斐支援。子育て支援）
（生き甲斐のグループを色々ご紹介できます）
 - ・ 認知症や精神的に不安のある方もお出かけ下さい。専門家をご紹介します。
 - ・ 高齢者や障がいを持つ方が地域で安心して生活をして頂ける支援をしています。
 - ・ グループに参加して生き甲斐を見つけて頂きます。
- ④ 電話で相談を受け関係機関につなげる。直接お話しする。
 - ・ 社会貢献・ボランティアのコーディネートもしています。生活体験を広げましょう。
 - ・ 人の輪を広げコミュニケーション（理解し合う仲間づくり）で安心した生活を!!

一人で悩まず、下記までお電話をかけるか
お出かけ下さい。一緒に考えましょう。
ご相談をお待ちしております。

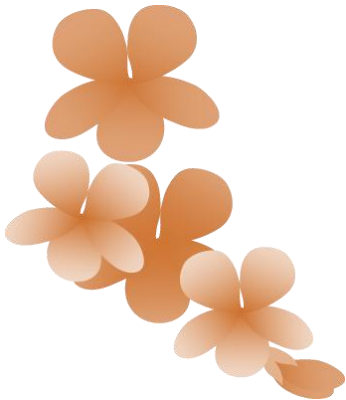


——ご連絡——

電話：03-5458-4811、03-5458-4814、03-5458-4816、03-5458-5011
FAX：03-5458-4817



社会福祉法人パール
第二種社会福祉事業 社会福祉活動教育研究所
〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町3番27号



補助事業により作成した印刷物

介護予防教室ポスター

平成 24 年度

介護予防教室

開催のお知らせ

パール SFA クラブ

～和やかに仲間と楽しい時間を過ごしましょう～

社会福祉法人パールでは、いつまでも生き生きと生活していただけるよう「転倒防止＆低栄養予防＆口腔ケア教室」を開催いたしております。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加下さいませ。



第1回	4月 7日(土)	第9回	8月 4日(土)	第17回	12月 1日(土)
第2回	4月21日(土)	第10回	8月18日(土)	第18回	12月15日(土)
第3回	5月 5日(土)	第11回	9月 1日(土)	——平成25年——	
第4回	5月19日(土)	第12回	9月15日(土)	第19回	1月 5日(土)
第5回	6月 2日(土)	第13回	10月 6日(土)	第20回	1月19日(土)
第6回	6月16日(土)	第14回	10月20日(土)	第21回	2月 2日(土)
第7回	7月 7日(土)	第15回	11月 3日(土)	第22回	2月16日(土)
第8回	7月21日(土)	第16回	11月17日(土)	第23回	3月 2日(土)
				第24回	3月16日(土)

時間 午前10時30分集合
午後2時00分終了予定

場所 パール1階・地域交流ロビー
or 地下1階・研修室

料金 1,000円～(食事は別)

対象 原則、おひとりパールまでお越しになれる方

内容

- 理学療法士による転倒予防のための筋力アップ体操と指導
- 栄養バランスの整ったお食事の食育と栄養講座
- 口腔ケアから始まるいきいき健康生活のすすめ
- 園式呼吸と発声練習で“皆でうたおう”
- 世代をこえ、障害をこえて共に生きる地域づくり

※講師：高橋 理雄 先生 (社会福祉法人東京保健専門学校社会福祉士会会長)
中島 浩弥 先生 (東京00競輪会会長)

共催 社会福祉法人 パール

社会福祉活動教育研究所
地域包括支援センター・パール

TEL. (5458) 5011 担当：新井、成松(調)、黒玉
TEL. (5458) 4814 担当：成松、早川、笠原、榎本



社会福祉法人
パール

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町3-27
TEL 03-5458-4811 (代)
FAX 03-5458-4817



競輪補助事業

